

特集 中小企業のテレワーク——導入支援における課題と今後の方策

第1章 テレワーク導入の必要性



岡本 崇志

東京都中小企業診断士協会城西支部

新型コロナウイルスがもたらした社会変革の1つが、働き方の見直しといってもいいだろう。一斉に在宅勤務が求められ、テレワークの拡大によって見えてきたのは、柔軟な働き方によって得られるメリットであった。

しかし一方では、ルールの整備や情報セキュリティ対策などといった課題もある。テレワーク導入は、経営資源に限りのある中小企業にとって重い負荷なのだろうか。

本特集では、時代のキーワードともいえるテレワークの基本を再確認し、中小企業診断士が、中小企業での導入を支援するにあたって心がけるべき点を明らかにしていきたい。

1. テレワークの現状

中小企業のテレワーク導入支援を考える前に、まずは、東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」、およびパーソル総合研究所「新型コロナウイルス対策によるテレワークへの影響に関する緊急調査」の調査結果を中心に、テレワークを取り巻く現状を見ていきたい。

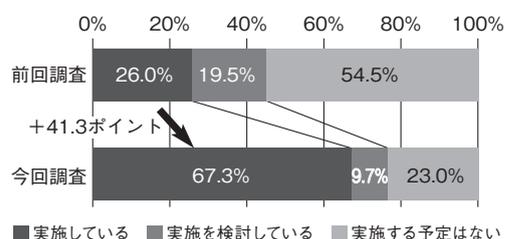
(1) テレワークへの取組みの変化

図表1を見ていただきたい。調査期間は前回が3月中下旬、今回が5月末～6月上旬での比較となっている。2ヵ月の間に、テレワークを実施した企業の割合は急激に増加した。

また、「実施する予定はない」と答えた企

業の割合が減少している。もともとは実施を考慮していなかった企業までもが、喫緊の課題としてテレワークに取り組んでいる現状が見て取れる。

図表1 テレワークの実施割合



出典：東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」より加工

(2) 実際の取組み

① テレワーク実施の効果

図表2で示したテレワーク実施による効果は、「働き方改革（時間外業務の削減）が進んだ」が最多で、「業務プロセスの見直しができる」が続いた。テレワーク実施を機会に、業務の見直しも進めていったことがわかる。

図表2 テレワーク実施の効果

1位	働き方改革が進んだ	50.1%
2位	業務プロセスの見直しができる	42.3%
3位	定型的業務の生産性が上がった	17.0%
4位	特になし	17.0%
5位	コスト削減	14.3%

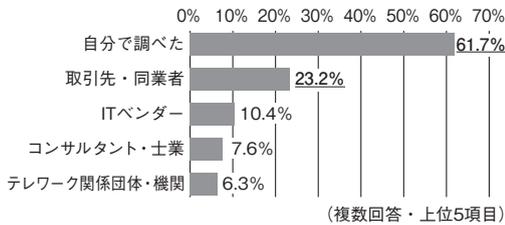
(複数回答・上位5項目)

出典：東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」より加工

②テレワークの相談先

図表3の「テレワークの相談先」は「自分で調べた」が最多となり、担当者が手探りで実施している現状が見て取れる。また、業務フローを熟知した取引先・同業者のアドバイスが参考になったとの声も聞かれた。一方で、専門家を活用した企業は少ない。

図表3 テレワーク相談先

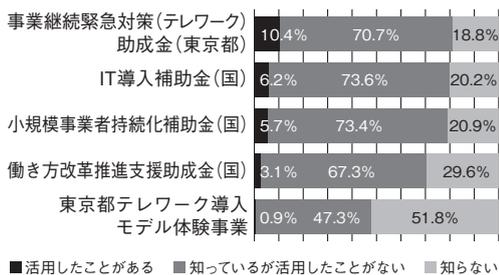


出典：東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」より加工

③助成金・補助金・公的支援制度

図表4を見る限り、助成金・補助金・公的支援制度の認知度はあるものの、活用割合は低く、まだまだ十分に活用されているとはいえない。先のテレワーク相談先と併せ、中小企業診断士による支援が期待される。

図表4 助成金・補助金・公的支援制度について (認知度・活用度)



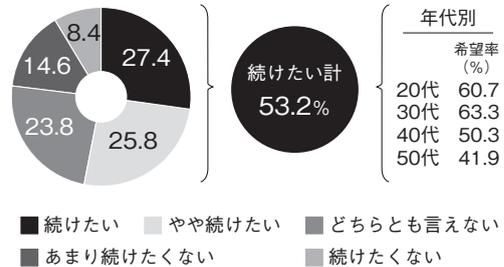
出典：東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」

(3) 従業員の視点

図表5は、4月に従業員を対象として行われた調査だ。多くがテレワーク継続希望の意向を示し、若い年代ほどその傾向が強い。テレワークへの対応度が、従業員の満足度や新

規採用など人材獲得に影響する可能性があるといえる。

図表5 収束後のテレワーク継続意向



出典：パーソル総合研究所「新型コロナウイルス対策によるテレワークへの影響に関する緊急調査」より加工

2. 今後のテレワーク導入に向けて

新型コロナウイルスが収束すれば、テレワークへの取組みが終わるわけではない。企業が生産性を高めつつ、人材を確保し、事業を継続させていくための重要な手段として、今後も長期にわたる取組みが求められている。テレワークへの対応度は、企業を評価する指標の1つとしてますます重要となるだろう。

次章からは、実際の取組みを通して、今後中小企業が取り組むべき課題と対応策について考えていきたい。

第2章から第4章では、テレワーク支援専門家へのインタビュー、ツールなど導入知識を紹介し、テレワーク導入にあたっての支援イメージをつかんでいただきたい。

第5章では、中小企業2社の事例からコロナ禍での具体的なテレワーク対応と、アフターコロナに向けた取組みについて見ていく。

以上の内容を踏まえて、第6章では、テレワーク支援の今後について考える。

岡本 崇志

(おかもと たかし)
映像演出、CGディレクター、アニメーター、プラネタリウム映像制作など幅広く活動。都内大手CGスタジオにて勤務後、2020年5月独立。2020年中小企業診断士登録。

